

# しんまる ホットライン

お寄せいただいた作品やお便りをご紹介します。



## しんまるくんの似顔絵



渡辺 瑠依さん  
(御嵩町)

## 川柳 前号で募集したお題は「森(もり、しん)」でした。

森深き 流るる清流 細く長く ペンネーム あじさいさん (御嵩町)	木漏れ日の シャワーに癒う 森林浴 ペンネーム みりたんさん (八百津町)	雪景色 しんと静まる ダム 曾我 薫さん (恵那市)	森の中 大手広げて 深呼吸 ペンネーム トマトさん (瑞浪市)
--	--	-------------------------------------	--

●今号で募集するのお題は『**緑**(みどり、りょく)』です。  
“緑”の文字を入れてどんな川柳が創られるのか楽しみにしています。

## 皆様からのご応募をお待ちしています。

掲載させていただいた方全員に  
「新丸山ダムオリジナルグッズ」を差し上げます。  
今回の募集締切は **平成20年2月29日(金)** です。  
ふるってご応募ください。編集スタッフ一同楽しみにしています。

ペンネームでの掲載を希望される方は、当広報誌に付いているアンケートハガキの氏名欄に、ペンネームを必ずご記入ください。

## 国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

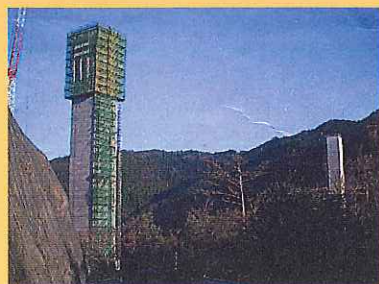
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351  
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>  
メールアドレス [shinmaru@cbr.mlit.go.jp](mailto:shinmaru@cbr.mlit.go.jp)



## お便り紹介

みなさんから寄せいただいたご意見やご質問などを紹介しています。今回は、写真を添えたお便りもあって、とても楽しく読ませていただきました。

今年の年賀状の写真は新旅足橋の橋脚を入れました。橋脚2本を写すことは大変難しかったです。何となく片方の橋脚が傾いて写っています。



伊佐治 博平さん (八百津町)

年賀状に、どっしりとした磐石な橋脚は、何となく縁起も良さそうですね! 昨年末頃のお写真でしょうか? 現在は表紙の写真のところまで進んでいます。完成、供用に向けて、色づき始めた山々に今日も槌音が響きます。

水は大切に使わないとダメ。環境にも十分配慮してネ!

ペンネーム ユイクンさん (四日市市)

はい! 水を大切にし、環境への配慮も十分に行っています。ユイクンが大人になっても自然を大切にすることを続けてください。

新丸山ダムがどのように出来上がるのか楽しみにしており、町が栄えることもねがっています。緑にかこまれ住みやすい所です。八百津大好きです。

ペンネーム パードックさん (八百津町)

八百津町は風光明媚な閑静なところで、私も大好きです。ダムの建設とともに、道路も整備され、恵那方面、土岐、瑞浪方面とも、より地域のつながりが深まることと思います。そこからさらに八百津町の発展が進んでいくことでしょう。

## 写メール募集

まちかどスナップ ふるさと自慢

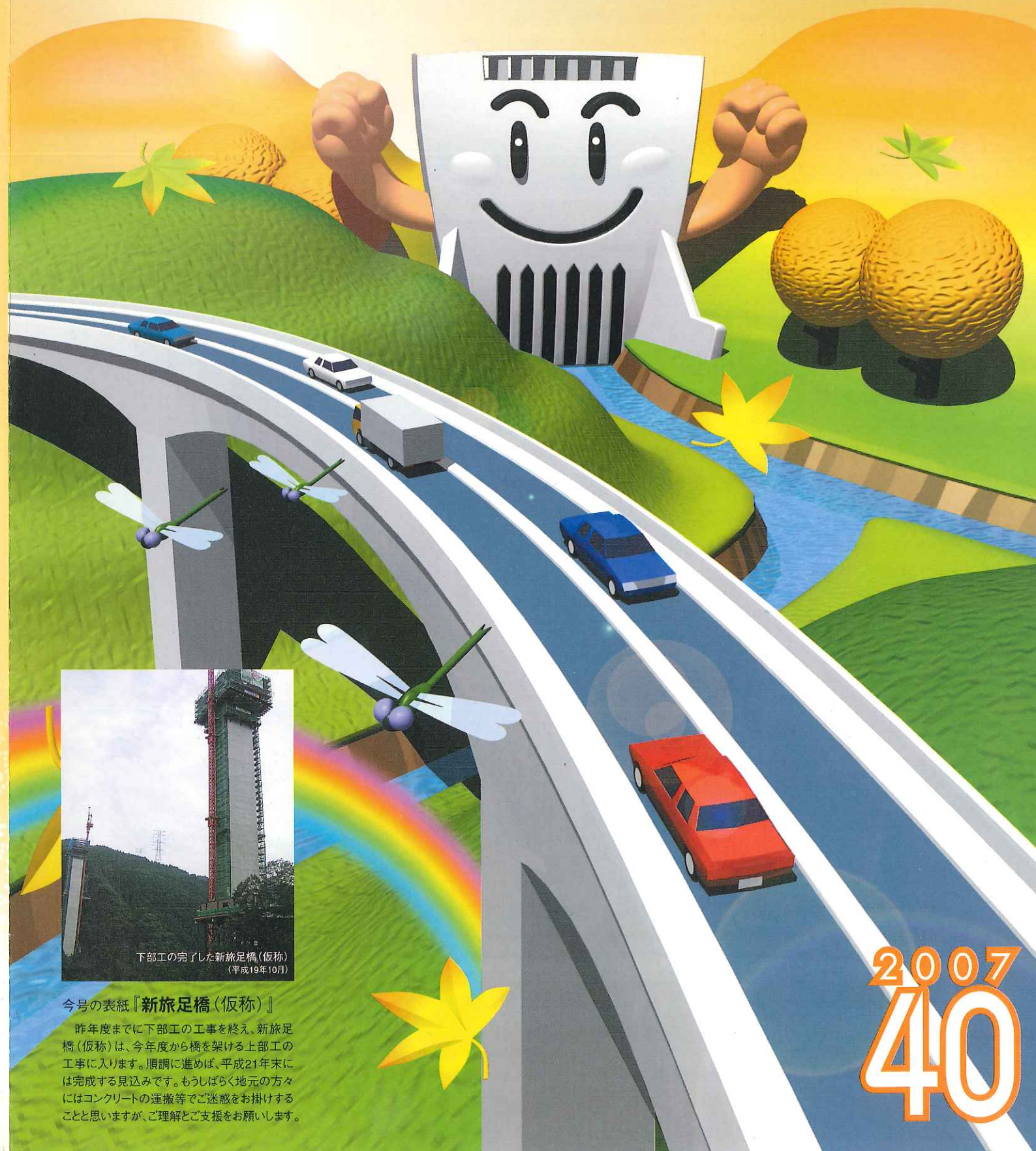


●メールアドレスは [shinmaru@cbr.mlit.go.jp](mailto:shinmaru@cbr.mlit.go.jp)

「夕焼けがキレイにみえる身近な公園」「花がきれいに咲く散歩道」「心がなごむ里山の風景」「トンボやカエル、生き物がいっぱいスポット」など、観光ガイドには載っていない、みなさんが感じた、みなさんだけが知っている身近なふるさと自慢を、コメントつきで送ってください。

# みずしるべ

国土交通省中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所情報誌



下部工の完了した新旅足橋(仮称)  
(平成19年10月)

## 今号の表紙『新旅足橋(仮称)』

昨年度までに下部工の工事を終え、新旅足橋(仮称)は、今年度から橋を架ける上部工の工事に入ります。順調に進めば、平成21年末には完成する見込みです。もうしばらく地元の方々にはコンクリートの運搬等でご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご理解とご支援をお願いします。

この情報誌は再生紙を使用しています。



# 新商品の開発や産地PRを全国で展開する 八百津せんべい新商品開発グループ

八百津町でせんべいが焼かれ始めたのは大正10年頃。小麦粉を主原料とする八百津せんべいはその栄養価の高さから、戦後の食糧事情とマッチし、最盛期は150を超える生産者が軒を連ねていました。しかし、食文化の多様化や後継者不足などから、現在では30数者が懸命に郷土の味を守り続けています。今回は、産地崩壊の危機さえあるといわれる地域産業に活力を与え、八百津せんべいの新しい時代を築こうと挑戦を始めた『八百津せんべい新商品開発グループ』の伊藤さんにお話をうかがいました。



従来の八百津せんべいに比べ厚さの薄い新商品。サクサクとした食感はクッキーにも似ているようです。また、八百津せんべいには欠かせない小麦粉をあえて使わず、大豆粉とじゃがいもでんぷんを主原料に用いたせんべいも商品化されています。

「八百津せんべいの活性化のお手伝いをしたい」と八百津町商工会から八百津煎餅協同組合にお話しがあったのは2年前のこと。有志を募ったところ、名乗りを上げたのが現在のメンバーです。跡を継ぐ息子を思い、日頃から八百津せんべいの行く先を案じていた私も、息子と一緒に参加することになりました。

今までの個々に行う新商品づくりでは、小麦粉、砂糖など固定していた材料から離れられず、従来の「味」からどうしても脱皮できずにいた生産者のみなさん。そこで今回は、試食会を開くなどして外部の意見を様々な取り入れながら、まったく新しい味づくりにチャレンジしました。

「今までに八百津せんべいを食べたことのない若い人たちが今回の商品開発のターゲットでした。メンバー各自で作ったものを持ち寄り、互いに意見を出し合いながら改良を加える。八百津せんべい伝統の職人技術を駆使しながら繰り返し行われた商品作りの結果、20数点の試作品ができあがり、今回はその中から9種類の商品化しました。原料には厳選した国内素材を用い、どれもがこれまでにない新感覚の八百津せんべいを誕生させることができたと思っています。」

「食べていただけると評価される。もっと機会を設けてこの新しい八百津せんべいの味を知ってもらえば、売り上げにつながっていくのではないだろうか。今までの八百津せんべいのイメージを拭き去るためにも、今後は地道なPR活動も必要なのかもしれないですね。」

八百津せんべいの他にも、和菓子など味覚を通じた町の活性化に取り組んでいる八百津町。湊町として栄えた伝統文化を礎に、ついでに、八百津町活性化の芽が、やがて大きな実をつけることを私たちも期待しています。



東京で開催されたギフトショーにも出品されました。



岐阜女子高校、岐阜女子大学、岐阜県庁で試食会は行われました。(写真は岐阜女子大学の試食会風景)



八百津せんべい新商品開発グループが開発した商品は、八百津煎餅協同組合の直営店などで購入できます。また、これまでの活動状況は下記の八百津町商工会ホームページでご覧いただけます。  
<http://ameblo.jp/shokokai-yaotsu>  
●取材協力・写真提供／八百津町商工会



八百津せんべい新商品開発グループのメンバー。今回お話をうかがった伊藤さんは八百津煎餅協同組合の理事長もなっています。(伊藤さんは右から2番目)

みなさんのご意見を聞かせて下さい。  
～アンケート調査を行っています～

新丸山ダムホームページ/みずしるべQ&A アドレス  
[http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12\\_qa.html/](http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12_qa.html/)

みずしるべのアンケートでみなさんから寄せられた質問とその回答は、国土交通省新丸山ダム工事事務所ホームページにも掲載しています。上のアドレスにアクセスしてみてください。これからも、みなさんの質問にどんどんお答えしていきます。

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼント!

抽選で5名様  
小さくためて気軽に持ちこびできる  
折りたたみパラソル



サイズ/25cm  
※折りたたみサイズ  
色の指定はいたしかねますのでご了承ください。

●応募締め切りは平成20年2月29日消印有効です。  
当選者の発表は発送にかえさせていただきます。

郵便はがき

5 0 5 0 3 9 0

料金受取人私郵便  
可児支店  
承認  
333

(受取人)  
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351  
国土交通省 中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所  
みずしるべ40号 アンケート係 行

氏名 (性別 男/女 年齢 )

お寄せいただいたみなさんのご意見を広報誌などに掲載させていただく際に匿名またはペンネームをご希望の方はご記入ください。  
匿名を希望 (はい/いいえ) ペンネームを希望 ( )

〒

住所 電話

職業 1.会社員 2.主婦 3.学生 4.無職 5.その他 ( )





流域ニーズに的確に応えた河川計画づくり

## 新丸山ダム建設事業は河川整備において必要な施設として審議が行われています。

河川整備基本方針の策定を受け、現在、今後20年から30年後の中期的な河川整備の目標・具体的な個別事業に関する事項を定める河川整備計画の策定を進めています。

河川整備計画において木曾川は、戦後最大洪水である昭和58年9月洪水に対応することとして審議が行われており、その中で必要な施設として、新丸山ダム建設事業についても審議が行われています。

### ◆木曾川水系河川整備基本方針 について

河川整備基本方針とは、河川の将来あるべき姿を目指し、長期的視点にたった河川整備の基本的な方針に関する事項を定めるものです。学識経験者を主たる構成員とする『社会資本整備審議会河川分科会河川整備基本方針検討小委員会(国土交通省河川局)』にて、これまでに3回の審議が行われ、平成19年10月11日に審議が終了しました。

### ◆木曾川水系河川整備計画 について

河川整備計画とは、木曾川水系の今後20～30年後の中期的な河川整備の目標、具体的な個別事業に関する事項を定めるものです。

木曾川水系河川整備計画を策定するため、現在、学識経験者による『木曾川水系流域委員会』と地域住民のご意見をうかがう『ふれあい懇談会』を行うとともに、木曾川沿川の市町の代表となる行政からもご意見をうかがっています。

### ●学識経験者による審議について

新丸山ダム建設事業についても、河川整備計画に必要な主要施設として、10月の第7回流域委員会にて審議されました。

また、11月の第8回流域委員会でも引き続き審議される予定です。

### ●ふれあい懇談会の開催状況について

地域住民からご意見をうかがい、河川整備計画に反映させることを目的に『ふれあい懇談会』を実施しています。

第1回 [平成18年6～8月]

美濃加茂市など沿川市町の29会場

第2回 [平成19年9月]

美濃加茂市・名古屋市・岐阜市などの6会場

第3回 [平成19年10月]

岐阜市・一宮市・桑名市の3会場



ふれあい懇談会

河川整備計画については、平成20年末の策定を目指して今後も審議を重ねてまいります。

木曾川水系流域委員会、ふれあい懇談会の開催結果に関する資料は、下記にホームページに掲載されています。またホームページでは、皆様が川に対して日頃感じていることや、河川の整備や管理についてのご意見を募集しています。

<http://www.kisosansen-plan.jp> (木曾川水系河川整備計画ホームページ)

工事情報

## 資材運搬線は本年度末までに全線の工事が完成します。



御嵩町道として全線開通し、地域の生活道路として利用されます。

新丸山ダムの工事に必要なセメントなどの資材や工事に使用する大型重機などを運ぶために利用される『資材運搬線』は、本年度末までに国道21号からダム建設現場までの工事が完成します。現在は、残る3箇所、全線にわたり照明、安全施設の工事を行っています。この資材運搬線は、町道として全線を開通し、ダム建設中は大型車両が通行しますが、一般車両も通行できる地域の生活道路としても活用されることとなります。

### ●こんな『新技術』を取り入れて工事を行います。

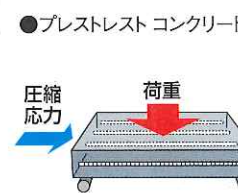


### ●PC板(プレストレスト コンクリート)

橋梁の耐久性向上をはかるため、橋の床版部にPC板(プレストレストコンクリート)を使用した新技術『PCコンポ橋』を採用しています。

### ●プレストレスト コンクリートとは

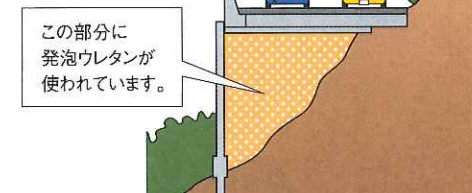
プレストレスト コンクリートにはあらかじめ引っ張っておいた鉄筋の5～6倍の強度を持つPC鋼材が入っています。コンクリートに圧縮応力が加わることで、荷重による引張力に対してひび割れの起こりにくい強度が得られるのです。



●プレストレスト コンクリートは  
●コンクリートは



地盤の弱い場所に盛土をするため、土の代わりに住宅の断熱材などにも使われている『発泡ウレタン(硬質ウレタン)』を利用する新技術の軽量盛土工法を採用しています。土に比べて軽量な上、十分な強度を持っています。



この部分に発泡ウレタンが使われています。



## 第15回 新丸山ダムふれあい広場を開催します。

八百津町の産業文化祭に併せて『第15回新丸山ダムふれあい広場』を開催します。今年は、次のようなコーナーを用意してみなさんの参加をお待ちしています。

開催日/平成19年11月11日(日)9:00～15:00  
場 所/新丸山ダム工事事務所

- 現地見学会(詳細は右欄をご覧ください)
- サンドアート(砂像づくり)
- 流木教室 & 自然素材の工作教室
- ペーパークラフト魚釣りゲーム
- しんまるくん輪投げ
- クイズスタンプラリー
- 事業PRコーナー

### 現地見学会(エクスカーション)に行ってみよう!

見学場所/①丸山ダム(操作室・ダムの中)→②新旅足橋(工事現場)→③人道の丘・杉原千畝記念館

出発時間/新丸山ダム工事事務所 13:00(可見駅 12:30)  
解散時間/新丸山ダム工事事務所 15:00(可見駅 15:30)

定 員/20名  
申 込 先/新丸山ダム工事事務所総務課 TEL.0574-43-2780

- ※注意事項
- ・先着順に受け付け、定員になり次第、締切となります。
  - ・定員に達していない場合は当日受付も行いますが、可見駅までのご乗車については、必ず事前の申し込みが必要となります。

参加費  
無料

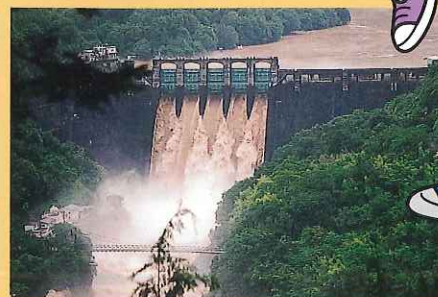


今号のまるわかり

# ダムのやくわり 洪水調節ってなあに？



大雨がふると川の水が急に増えて、川が氾濫(はんらん)することがあります。これをふせぐため、ダムは大雨によって増えた川の水量の一部をダム湖に貯め込み、下流へ安全な水量だけを流すことで、下流地域を洪水から守っています。このやくわりをダムの**洪水調節**といいます。

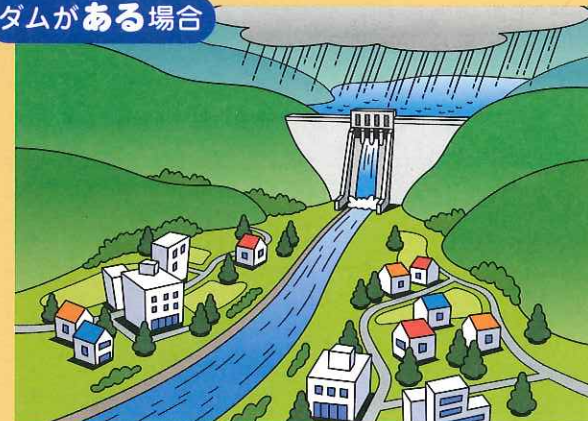


洪水調節を行う丸山ダム→

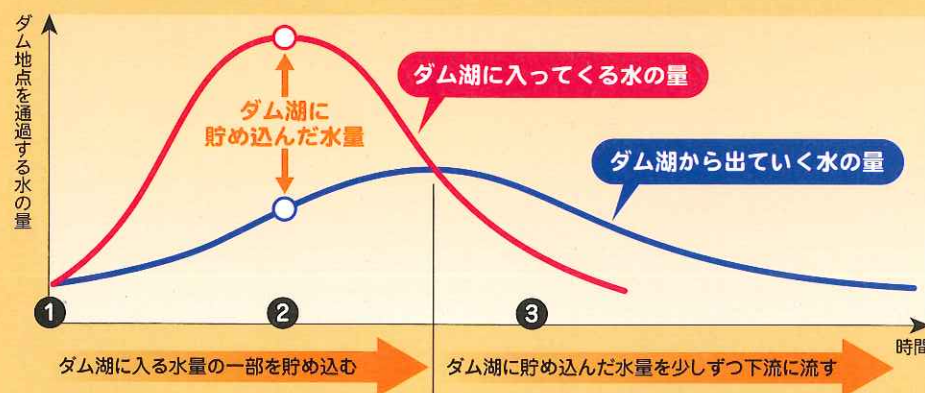
## ダムがない場合



## ダムがある場合



## ●ダムによる洪水調節の手順



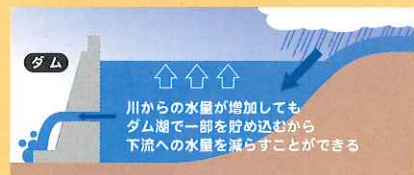
大雨がふったとき、ダムからはたくさん水が下流へと流されているけどダム湖にはもっと多くの水が流れ込んでいるんだ！

### ① 雨がふり出したら



上流からの水量は、まだいつもと変わりませんので、ダム湖に入ってくる水量と下流へ流す水量は、ほぼ同じです。

### ② 大雨になったら



上流からの水量が増えてきました。このままの水量を下流に流すと川が氾濫する危険があります。ダム湖に入ってくる水量の一部を貯め込み、安全な水量を流すことで下流地域を洪水から守ります。

### ③ 雨がやんだら



雨がやんで、ダム湖に入ってくる水量が減っても、しばらくはダム湖に貯め込んだ水量を下流に流すことで、ダム湖の水位を普段の水位まで下げ、次の大雨にそなえます。

## アンケート調査にご協力ください。

新丸山ダム建設事業、情報誌みずるべについてみなさんのご意見をお聞かせください。いただいた貴重なご意見は、今後の事業推進や広報活動、みずるべの編集等に役立てます。

●回答は下の「アンケート回答用紙」にご記入のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

### 質問項目

今回掲載した内容に興味があるかどうかそれぞれお答えください。

- A 新丸山ダムNow & New .....[1.ある/2.ない]
- B 新丸山ダムまるわかりキッズコーナー .....[1.ある/2.ない]
- C しんまるホットライン.....[1.ある/2.ない]
- D ふれあいスペース .....[1.ある/2.ない]
- E 表紙イラスト .....[1.ある/2.ない]

今後、本広報誌に掲載してほしい内容はありますか。アルファベットに○をつけてお答えください。(複数回答可)

- F 新丸山ダム建設事業の最新情報
- G 新丸山ダムの整備効果
- H 環境への取組み
- I 新丸山ダム事業に関連するイベント情報
- J ダム周辺地域の話題
- K みなさんからのお願い

## みずるべ40 アンケート回答用紙

●該当する数字、アルファベットに○を付けてお答えください。

- A [1.ある/2.ない]      ●D [1.ある/2.ない]
- B [1.ある/2.ない]      ●E [1.ある/2.ない]
- C [1.ある/2.ない]      [ F G H I J K ]

### 応募スペース/しんまるくんの似顔絵・川柳

●新丸山ダム建設に対するご意見、ご質問などもお待ちしております。